据付（電気）工事担当およびサービス担当のかたへ

※このワイヤレスリモコンキットは、天井吊形、天井カセット形1方向吹出しタイプに使用できます。機種により、据付方法、設定方法が異なりますので、説明書に従い作業を行ってください。

天井吊形

ご注意

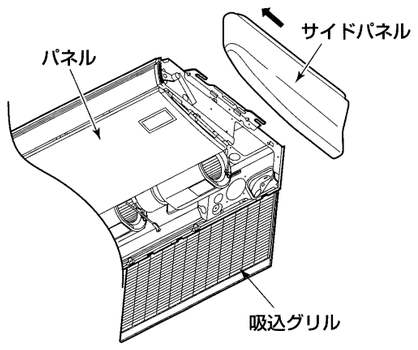
以下の設定を行う場合、各項目をごらんになり、受信部取り付け前に設定を実施してください。

- ワイヤードリモコンと同時設置する場合 → ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定
- 据え付ける天井高さが3.5mを超える場合・別売フィルタを取り付ける場合 → 高天井・別売フィルタ設定
- 同じ室内に複数の受信部を設置する場合 → リモコンアドレス設定

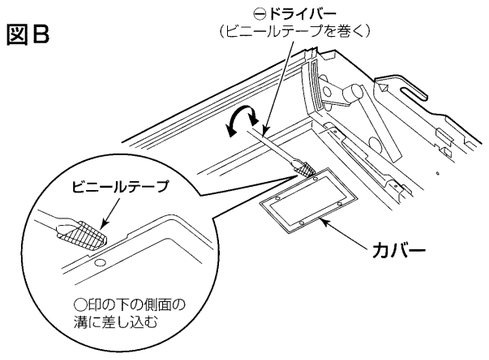
受信部の取り付けかた

1. サイドパネルは吸込グリルを開き、ねじ1本をはずしてから前面（矢印方向）へ移動させてはずします。（図A）
2. ⊖ドライバーの先端にビニールテープを巻き、カバーの○印の下の側面の溝に差し込んでこじるようにしてください。（図B）
   （パネルにキズを付けないように注意してください。）
3. パネルにリード線を通してから受信部をパネル穴に取付けます。（受信部の突起部がパネル穴で固定されます。）
4. 受信部のリード線は、ルーバーモーターの配線を固定しているコードクランプに固定します。（図C）
5. サイドパネルを取付けます。
6. 受信部からのリード線はルーバーモーター等の配線に添わせてコードクランプで固定します。（図D）
   ※電装ボックスの上側の穴を使用して引き込みます。

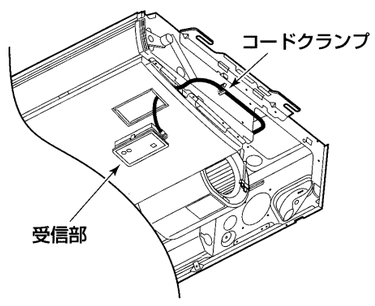
図A



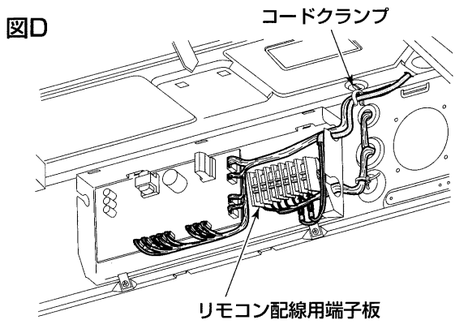
図B



図C



図D



〈注1〉受信部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると、誤動作の原因となりますので避けてください。
※配線、試運転については本紙“受信部の配線のしかた”および室内ユニット付属据付説明書“試運転”を参照ください。

天井カセット形1方向吹出しタイプ

ご注意

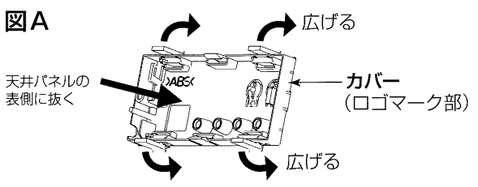
以下の設定を行う場合、各項目をごらんになり、受信部取り付け前に設定を実施してください。

- ワイヤードリモコンと同時設置する場合 → ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定
- 据え付ける天井高さが3.5mを超える場合（63~80形は3.8mを超える場合） → 天井カセット形1方向吹出しタイプの高天井設定
- 同じ室内に複数の受信部を設置する場合 → リモコンアドレス設定

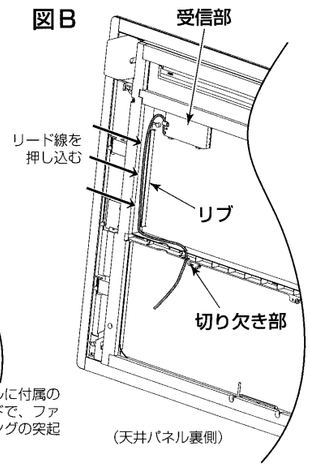
受信部の取り付けかた

1. 天井パネルに取り付けてあるカバー（ロゴマーク部）を固定部の爪を広げながら、表側に抜きます。（図A）
2. 受信部を天井パネルに取り付けます。（受信部の突起部が天井パネルの爪で固定されます）
3. 受信部のリード線を天井パネル裏側のリブに沿って押し込み、切り欠き部に通します。（図B）
4. 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。
5. 天井パネルから出たリード線は室内ユニット天面のコードクランプで固定します。（図C）
6. 受信部のリード線は、天井パネルに付属している結束バンドでファンケーシングの突起に固定し、電気部品箱の下側の穴から引き込んでリモコン端子板に接続します。（図D）

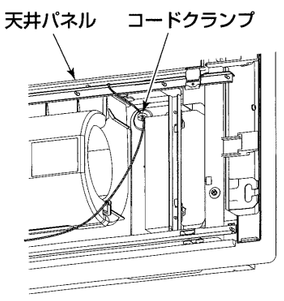
図A



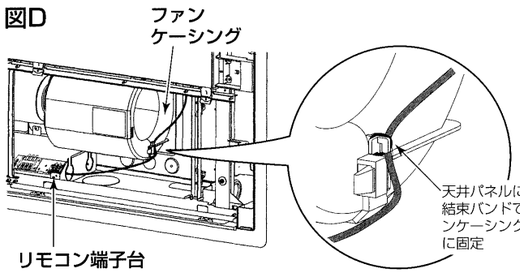
図B



図C



図D



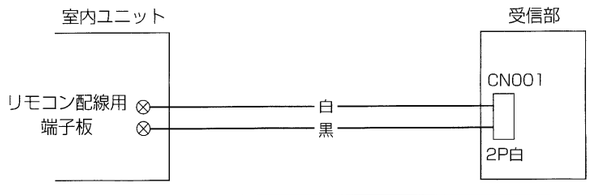
〈注1〉受信部のリード線は電源引込線などといっしょにより合わせると、誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注2〉リード線がファンに巻き込まれないように、確実に固定してください。
〈注3〉ユニット電源からノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処理が必要です。
※配線、試運転については本紙“受信部の配線のしかた”および室内ユニット付属据付説明書“試運転”を参照ください。

付属部品

番号	付属部品	個数
①	受信部	1
②	リモコン	1
③	リモコンホルダ	1
④	乾電池	2
⑤	取扱説明書	1
⑥	トラスタッピングねじ 4×16	2

受信部の配線のしかた

接続図



接続方法

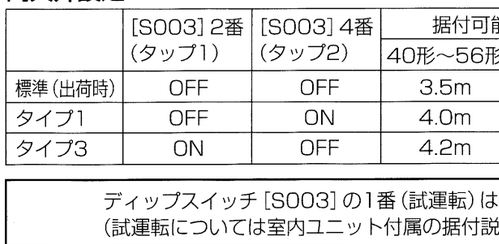
受信部からの配線を室内ユニットのリモコン配線用端子板に接続してください。
（極性はありません）

ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定

ワイヤレスリモコンキットは、ワイヤードリモコンと同時設置することにより、2リモコン制御が可能です。
（ワイヤレスリモコン、ワイヤードリモコンを合わせて最大2台まで設置可能です）
この2リモコン制御は、1台もしくは複数台のユニットを複数個のリモコンで操作するものです。
〈注〉リモコン配線は、室内ユニットの端子番号を確認の上、誤配線のないよう接続してください。（AC200Vを印加するとこわれます）
〈注〉ワイヤレスリモコンキットを1台の室内ユニットに複数個同時使用することはできません。
〈注〉ワイヤレスリモコンキットとワイヤードリモコンを同時設置して使用する場合は、どちらかのリモコンを子リモコンに設定してください。
●ワイヤードリモコンを子にする場合は、ワイヤードリモコン基板裏のディップスイッチの1番をリモコン親→リモコン子にしてください。
●ワイヤレスリモコンを子にする場合は、ワイヤレス受信部基板のディップスイッチ〔S003〕の3番をOFF→ONにしてください。

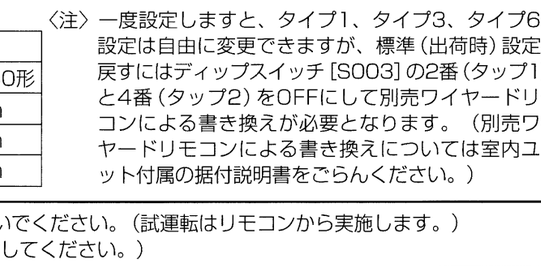
ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定（つづき）

室内ユニット1台をリモコン2台で操作する場合
※どちらのリモコンを親／子リモコンに設定しても動作します。



※現地配線は0.5mm²~2mm²を使用します。
※総配線長は400m以内としてください。

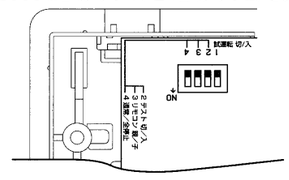
複数台グループ制御を、リモコン2台で操作する場合
※親／子リモコンはどの室内ユニットに取り付けても動作します。



※現地配線は0.5mm²~2mm²を使用します。
※グループ渡り配線の総配線長は200m以内としてください。

高天井・別売フィルタ設定

S003 2番（タップ1）と4番（タップ2）を使用



- 据え付ける天井高さが標準（出荷時）を超える場合、または別売フィルタを取り付ける場合にはDCファンタップアップが必要です。DCファンタップアップはワイヤレス受信部基板のディップスイッチ［S003］の2番（タップ1）と4番（タップ2）にて設定します。

天井吊形

高天井設定

	［S003］2番（タップ1）	［S003］4番（タップ2）	据付可能天井高さ
標準（出荷時）	OFF	OFF	3.5m
タイプ1	OFF	ON	4.0m

別売フィルタ設定

	［S003］2番（タップ1）	［S003］4番（タップ2）	別売フィルタ
標準（出荷時）	OFF	OFF	標準フィルタ
タイプ1	OFF	ON	オイルガードフィルタ 光再生脱臭フィルタ
タイプ3	ON	OFF	高性能フィルタ
タイプ6	ON	ON	デオドラントフィルタ アンモニア脱臭フィルタ

天井カセット形1方向吹出しタイプ

高天井設定

	［S003］2番（タップ1）	［S003］4番（タップ2）	据付可能天井高さ	
			40形~56形	63形~80形
標準（出荷時）	OFF	OFF	3.5m	3.8m
タイプ1	OFF	ON	4.0m	4.0m
タイプ3	ON	OFF	4.2m	4.2m

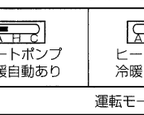
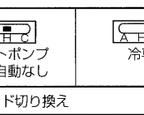
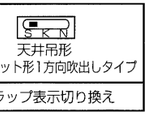
〈注〉一度設定しますと、タイプ1、タイプ3、タイプ6の設定は自由に変更できますが、標準（出荷時）設定に戻すにはディップスイッチ［S003］の2番（タップ1）と4番（タップ2）をOFFにして別売ワイヤードリモコンによる書き換えが必要となります。（別売ワイヤードリモコンによる書き換えについては室内ユニット付属の据付説明書をごらんください。）

ディップスイッチ［S003］の1番（試運転）はONにしないでください。（試運転はリモコンから実施します。）
（試運転については室内ユニット付属の据付説明書を参照してください。）

リモコンアドレス設定

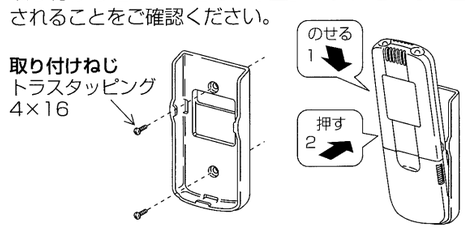
- 同じ室内に複数の受信部が設置されているときは、混信を防ぐためにアドレスを設定することができます。
- 電池を交換してリセットボタンを押したときは、リモコンのアドレスが「ALL」になりますので、受信部のアドレススイッチの設定に関わらず受信可能です。
- リモコンのアドレス変更方法は取扱説明書をごらんください。
- 受信部のアドレス変更は、受信部の基板カバーのねじをはずして行ってください。終了後、もとどおりにコードクランプにて配線を止めながらねじで固定してください。

※受信部を室内ユニットから取りはずすときは、「受信部の取り付け方」のカバーのはずしかたを参考に、パネルに傷をつけないようにご注意ください。

リモコンのアドレス表示	アドレス ALL	アドレス 1	アドレス 2	・・・・・	アドレス 6
受信部のアドレススイッチの位置	※受信部のアドレススイッチはどこでもよい			・・・・・	

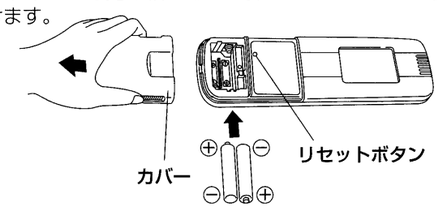
リモコンの取り扱いかた

● リモコンを壁などに取り付けてご使用になる場合
取り付ける位置で「運転／停止」ボタンを押し、正常に受信されることをご確認ください。



リモコンを取り出す場合は、手前に引いてはずします。

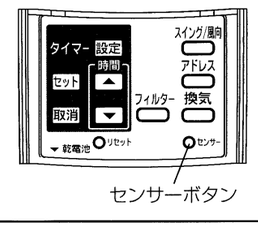
● 電池の交換方法
1. カバーの両端を持ち、下にずらしてはずします。
2. 単4形アルカリ乾電池を2本入れます。＋－極を表示に従って正しく入れます。
3. リセットボタンを先の細いもので押してからカバーを取り付けます。



室温センサーの設定について

- 室温センサーは、室内ユニットとワイヤレスリモコンに内蔵されています。室温センサーはどちらか一方で動作します。
- 出荷時は室内ユニット側に設定されていますが、リモコン側へ切り換えるには、リモコンカバー内のセンサーボタン（右図）を押し、液晶表示面から“本体センサー”が消えたことを確認してください。

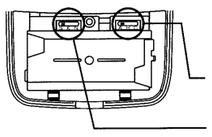
〈注〉センサー切り換えが、リモコン側に設定されていても、リモコンからの室温データが10分間室内ユニットに伝わらない場合には、自動的に室内ユニット側のセンサーに切り換わってしまいます。
リモコンはできるだけ室内ユニットに向けて、取り付けてください。



センサーボタン

スライドスイッチの合わせかた

ワイヤレスリモコンキットを使用する室内ユニットの機種により、リモコンの乾電池ボックス内にあるスライドスイッチの設定を行ってください。



〈注〉出荷時は「S」／「A」に設定されています。
〈注〉切り換えた後は必ずリセットボタンを押してください。
※くわしくは取扱説明書をごらんください。

A H C ヒートポンプ 冷暖自動あり	A H C ヒートポンプ 冷暖自動なし	A H C 冷専	S K N 天井吊形 天井カセット形1方向吹出しタイプ
運転モード切り換え			フラップ表示切り換え

自己診断機能表と処置方法

● 下の表は一例です。セット本体の詳細な警報については、室内ユニットの据付説明書をごらんください。

ランプ表示	原因	処置方法
運転 ● タイマー ● 準備中 ● リモコンを操作しても全く表示がない	電源が入っていない 受信部と室内ユニット間の誤配線	結線を見直して、正しく結線してください。
運転 ☼ 点滅 タイマー ● 準備中 ●	受信部と室内ユニット間配線の接触不良	
運転 ● タイマー ● 準備中 ☼ 点滅	室内外接続線の誤配線または接触不良	

ランプ表示	原因	処置方法
運転 ☼ タイマー ● 準備中 ☼ 交互点滅	室外機の保護装置が作動	室外機をチェックしてください。
運転 ● タイマー ☼ 準備中 ☼ 交互点滅	室内ユニットの保護装置が作動	室内ユニットをチェックしてください。

リモコン設置上のご注意

- リモコンをリモコンホルダで壁などに固定して操作する場合は、蛍光灯を点灯させ、取り付ける位置でリモコンを操作し、エアコンが作動することを確認してから取り付けてください。
- リモコンで室温を感知する場合は、つぎの点に注意して取り付けてください。
  ・冷風や温風が直接当らないところ。　・直接日光が当らないところ。　・その他熱影響のないところ。

お客様への説明

- 「取扱説明書」「据付工事説明書」は工事完了後、お客様にお渡しください。
- 「取扱説明書」にそってお客様にご使用方法、お手入れのしかたを説明してください。

EH56634101-②